
台風の日

小林 健一

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

台風の日

【Nコード】

N9710Q

【作者名】

小林 健一

【あらすじ】

昔、母親が台風の中出前を頼んだら、すごく厭々な感じで届けてくれました。そのときに思いついたショートショートです。

トゥルルルル……。 (電話の音)

「へいつ、来来軒です」

「あの、角の林なんですけど、ラーメン二つお願いね」

「へいつ、まいど」
「がちゃ。」

「どうしたい、何の電話だい？」

「それがなあ、出前してくれて言うんだよ」

「げっ、この台風の中をかい？ 冗談じゃないよ。構わないから水宝亭に出前させちまいな。この暴風雨だ、林さんも文句言いやしないよ」

「そうだな、そうしような」

×

×

×

トゥルルルル……。 (電話の音)

「へい、水宝亭です」

「あの、来来軒なんだけどね、角の林さんちまでラーメン二つ頼んだよ」

「え、何だって？」

「とにかく、角の林さんちにラーメン二つだよ。お代は林さんちで払ってくれるから。じゃあ、頼んだからね」
「がちゃ。」

「何でえ、切っちゃまいやがった」

×

×

×

トゥルルルル……。 (電話の音)

「はい、万珍楼です」

「あ、水宝亭なんだけれど、角の林さんちまでラーメン二つ。金は向こうが払うそうだから、よろしく」

「はあ……、分かりました」
「がちゃ。」

×

×

×

トゥルルルル……。 (電話の音)

「へいつ、来来軒です」

「もしもし、万珍楼なんですけれど、角の林さんちにラーメン二つお願いします。お金は林さんちが払ってくれるそうだから。じゃあ、よろしく」

「へえ、まいど」

「おい、また林さんちから出前だよ」

「しょうがないね、もう一度水宝亭にお頼みよ」

「そうすっかい」

×

×

×

トゥルルルル……。 (電話の音)

「へい、水宝亭です」

「あの、来来軒なんだけれど、角の林さんちラーメン二つ追加だよ」

「じゃあ、角の林さんちは、ラーメン都合四個ってことですかい？」
「そう言うことになるね。じゃあ、よろしく頼んだよ」
がちや。

台風の日に出前を頼むのは止めましょう。 （おわり）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9710q/>

台風の日

2011年9月17日01時09分発行